

## 第1期

# 運用報告書(全体版)

# ROBOPROファンド

【2024年6月19日決算】

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「ROBOPROファンド」は、2024年6月19日に第1期決算を迎えましたので、設定以来の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

**SBI 岡三アセットマネジメント**

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

お取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

[ホームページ]

<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2023年12月28日から2045年12月19日までです。	
運用方針	ROBOPROマザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、世界の取引所に上場しているETFに投資することにより、実質的に世界の株式、債券、リートおよびコモディティに分散投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ROBOPROマザーファンド	世界の取引所の上場投資信託証券（ETF）を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	ROBOPROマザーファンド	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年6月19日および12月19日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、分配対象収益の範囲内で、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準等によっては、収益分配を行わないことがあります。	

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分 込 配 金	期 騰 落	率		
(設定日) 2023年12月28日	円 10,000	円 —	騰 落 —	% —	% —	百万円 2,900
1 期(2024年 6 月19日)	11,558	100	16.6	98.3	10,913	

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) 当ファンドは、各資産の配分比率を機動的に変更して運用を行います。そのため、当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定していません。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、投資信託証券組入比率は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

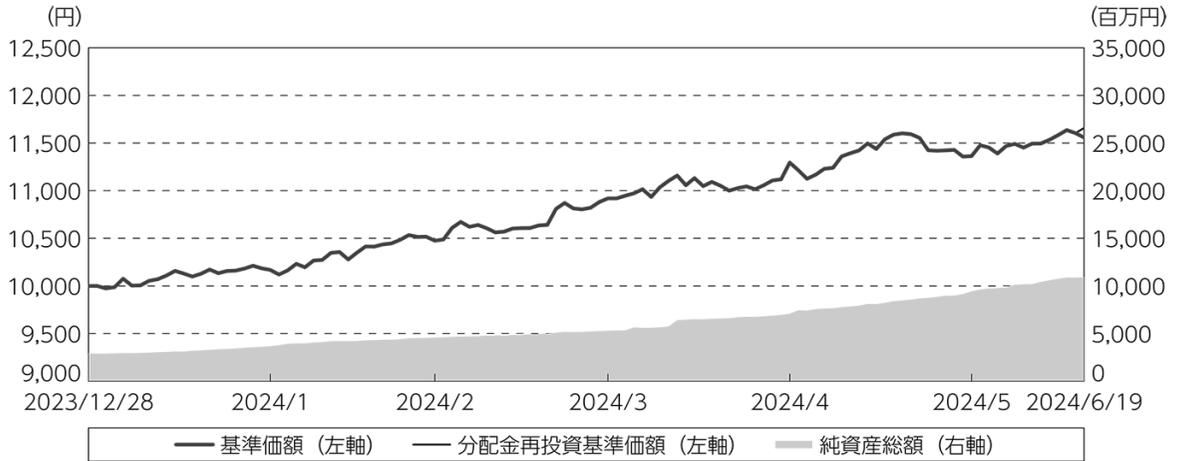
年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 組 入 比 率
		騰 落	率	
(設定日) 2023年12月28日	円 10,000	騰 落 —	% —	% —
12月末	9,974	△	0.3	96.9
2024年 1 月末	10,168		1.7	97.1
2 月末	10,475		4.8	98.5
3 月末	10,919		9.2	97.0
4 月末	11,295		13.0	98.8
5 月末	11,363		13.6	96.0
(期 末) 2024年 6 月19日	11,658		16.6	98.3

(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金(税引前)込み、騰落率は設定日比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2023年12月28日～2024年6月19日)



設定日：10,000円

期末：11,558円 (既払分配金 (税引前)：100円)

騰落率：16.6% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、設定日 (2023年12月28日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。(以下同じ。)

○基準価額の変動要因

当期間においては、金や新興国株式、米ドル/円の上昇が基準価額に対してプラスに作用しました。その結果、当期間中の当ファンドの基準価額は上昇しました。

**投資環境**

(2023年12月28日～2024年6月19日)

米国株式は、堅調な業績が継続する見込みに加え、利下げ期待などから大きく上昇しました。

米国を除く先進国株式は、金利上昇が上値を抑えたものの、堅調な業績に支えられ上昇しました。

新興国株式は、景気刺激策を受けた中国株の上昇や、成長期待を背景とするインド株の上昇などから大きく上昇しました。

米国債券は、根強いインフレを背景に利下げ開始時期の後ずれ観測が上値を抑え、当期間ではほぼ変わらずの値動きとなりました。

米ドル建てハイイールド債券は、米金利の上昇はあったものの、堅調な米経済を受けスプレッドがタイト化したことや、クーポン収入などから上昇しました。

新興国債券は、米金利上昇は上値を抑える要因となったものの、株式市場の上昇などを背景に投資家心理の改善が資金流入に繋がり、上昇しました。

米国不動産は、米金利の上昇などを受けて下落しました。

金は、中東情勢など地政学リスクの高まりや各国中央銀行の金購入継続などから大きく上昇しました。

為替は、日米の金利差拡大などから米ドル/円は上昇（円安）しました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2023年12月28日～2024年6月19日)

「ROBOPROマザーファンド」受益証券の組入比率は、期を通じて100%に近い高水準を維持しました。

「ROBOPROマザーファンド」の運用につきましては、運用の基本方針に則り、上場投資信託証券（ETF）の組入比率を高位に保ち、実質的に世界の株式、債券、リートおよびコモディティに分散投資を行いました。株式会社FOLIOから投資対象資産の配分比率に関する助言を受け、マーケットデータなどの分析に加え対象資産の期待収益率、リスクおよび相関等の推計値を考慮し配分比率を決定しました。また配分比率の見直しは、1ヵ月毎に行いました。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

(2023年12月28日～2024年6月19日)

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

## 分配金

(2023年12月28日～2024年6月19日)

当ファンドは、毎年6月19日および12月19日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行います。

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、分配対象収益の範囲内で、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。

当期は、1万口当たり100円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第1期
	2023年12月28日～ 2024年6月19日
当期分配金	100
(対基準価額比率)	0.858%
当期の収益	100
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,557

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

## &lt;ROBOPROファンド&gt;

運用の基本方針に則り、主要投資対象である「ROBOPROマザーファンド」受益証券の組入比率を高水準に維持することにより、投資信託財産の成長を目指して運用してまいります。

## ○ROBOPROマザーファンド

世界の取引所に上場しているETFに投資することにより、実質的に世界の株式、債券、リートおよびコモディティに分散投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。株式会社FOLIOから投資対象資産の配分比率に関する助言を受けます。各資産の配分については、マーケットデータなどの分析に加え対象資産の期待収益率、リスクおよび相関等の推計値を考慮し配分比率を決定し、配分比率の見直しは原則として1ヵ月毎に行います。またETFの組入比率は高位を保つことを基本とし、実質組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。

## ○ 1万口当たりの費用明細

(2023年12月28日～2024年6月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	80	0.747	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 45)	(0.421)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 34)	(0.316)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 1)	(0.011)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	19	0.179	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 投 資 信 託 証 券 ）	( 19)	(0.179)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 投 資 信 託 証 券 ）	( 0)	(0.002)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	1	0.008	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0)	(0.000)	その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
合 計	100	0.936	
期中の平均基準価額は、10,699円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

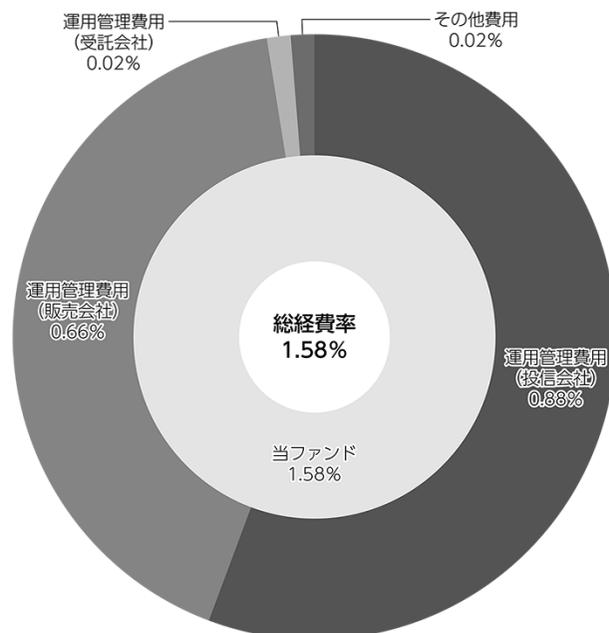
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.58%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年12月28日～2024年6月19日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ROBOPROマザーファンド	9,151,109 千口	9,836,539 千円	— 千口	— 千円

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年12月28日～2024年6月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年6月19日現在)

親投資信託残高

銘柄	当 期 末	
	口 数	評 価 額
ROBOPROマザーファンド	9,151,109 千口	10,775,430 千円

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年6月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ROBOPROマザーファンド	10,775,430 千円	97.4 %
コール・ローン等、その他	290,002	2.6
投資信託財産総額	11,065,432	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) ROBOPROマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(10,770,064千円)の投資信託財産総額(10,775,659千円)に対する比率は99.9%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル＝157.96円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年6月19日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	11,065,432,957
コール・ローン等	290,001,618
ROBOPROマザーファンド(評価額)	10,775,430,920
未収利息	419
(B) 負債	152,332,052
未払収益分配金	94,422,455
未払解約金	14,263,152
未払信託報酬	43,280,750
その他未払費用	365,695
(C) 純資産総額(A-B)	10,913,100,905
元本	9,442,245,508
次期繰越損益金	1,470,855,397
(D) 受益権総口数	9,442,245,508口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,558円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.1558円です。  
(注) 当ファンドの当初設定元本額は2,900,457,495円、期中追加設定元本額は6,940,591,071円、期中一部解約元本額は398,803,058円です。

○損益の状況 (2023年12月28日～2024年6月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	12,489
受取利息	14,298
支払利息	△ 1,809
(B) 有価証券売買損益	910,400,309
売買益	938,891,433
売買損	△ 28,491,124
(C) 信託報酬等	△ 43,647,242
(D) 当期損益金(A+B+C)	866,765,556
(E) 追加信託差損益金	698,512,296
(配当等相当額)	(△ 1,444)
(売買損益相当額)	( 698,513,740)
(F) 計(D+E)	1,565,277,852
(G) 収益分配金	△ 94,422,455
次期繰越損益金(F+G)	1,470,855,397
追加信託差損益金	698,512,296
(配当等相当額)	( 4,065,249)
(売買損益相当額)	( 694,447,047)
分配準備積立金	772,343,101

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。  
(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
(注) 収益分配金

決算期	第1期
(a) 配当等収益(費用控除後)	18,589,498円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	848,176,058円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	698,512,296円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	-円
分配対象収益(a+b+c+d)	1,565,277,852円
分配対象収益(1万口当たり)	1,657円
分配金額	94,422,455円
分配金額(1万口当たり)	100円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>資産</b>	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
<b>負債</b>	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
<b>純資産総額(資産－負債)</b>	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
<b>受益権総口数</b>	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>配当等収益</b>	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
<b>有価証券売買損益</b>	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
<b>信託報酬等</b>	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
<b>当期損益金</b>	当期における収支合計です。
<b>前期繰越損益金</b>	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
<b>追加信託差損益金</b>	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
<b>計</b>	収益分配前の期中の収支の総合計です。
<b>収益分配金</b>	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
<b>次期繰越損益金</b>	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

## ○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税引前）	100円
支払開始日	2024年6月25日（火）までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

## 〈お知らせ〉

該当事項はございません。

## ○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2024年6月19日現在）

## 〈ROBOPROマザーファンド〉

下記は、ROBOPROマザーファンド全体(9,151,109千口)の内容です。

## 外国投資信託証券

銘	柄	当 期 末			比 率
		口 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		口	千米ドル	千円	%
iShares U.S. Real Estate ETF		276,770	24,078	3,803,517	35.3
Vanguard Total Bond Market ETF		384,700	27,944	4,414,130	41.0
SPDR Gold MiniShares Trust		343,390	15,857	2,504,890	23.2
合 計		1,004,860	67,881	10,722,537	
	口数・金額	3	—	<99.5%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する各国別投資信託証券評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

## ROBOPROマザーファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	世界の取引所に上場しているETFへの投資を通じて、実質的に世界の株式、債券、リートおよびコモディティに分散投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	世界の取引所の上場投資信託証券（ETF）を主要投資対象とします。
投資制限	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

※当ファンドは第1期決算を迎えていないため、開示できる情報はございません。